

News Release



令和7年9月19日

各報道機関文教担当記者 様

全国大学技術組織による理科支援プロジェクト in 能登 被災地の子どもたちへ贈る科学実験教室 開催決定

金沢大学総合技術部は、全国大学技術組織による理科支援プロジェクト in 能登に参画し、10月15日（水）、16日（木）の2日間、石川県能登町・七尾市の小中学校で科学体験教室を開催します。

本学総合技術部は、「クリーンなエネルギー源 燃料電池で電気を作ろう」をテーマに実験教室を行います。15日（水）午前には、七尾市立市石崎小学校で、児童に身近な材料を使った燃料電池モデルによる充電・放電の原理を紹介します。また、16日（木）は、能登町立柳田中学校（午前）および能登町立能都中学校（午後）で、生徒自身が燃料電池の簡易モデルを工作し、豆電球点灯実験等を通してクリーンエネルギーの未来について体験しながら学ぶ体験教室を行います。本プロジェクトを通して、被災地の児童・生徒に科学の楽しさと環境への関心を育む機会を提供します。

つきましては、本件の取材・報道をよろしくお願いします。

※本事業についての詳細、取材申込、お問い合わせ等は、「別紙」をご確認ください。

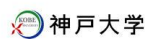
【金沢大学総合技術部とは】

平成29年度、全国に先駆けて設立した、全学の技術職員組織です。技術職員が活動する分野は、機器分析、情報・IT、ものづくり、ライフサイエンス、環境安全と多岐にわたります。現在、60名を越える技術職員・技術補佐員が、全学横断的に教育・研究活動を支援しています。全学の技術職員が「ONE TEAM」体制で組織的に活動している点が本学の総合技術部の特徴です。

金沢大学総合技術部 機器分析部門 担当：杉山 博則

TEL：076-234-4803

E-Mail：mt-cryptomeria@se.kanazawa-u.ac.jp



PRESS RELEASE

2025年9月19日

国立大学法人 鳥取大学

国立大学法人 金沢大学

国立大学法人 名古屋工業大学

国立大学法人 東北大学

国立大学法人 神戸大学

国立大学法人 大分大学

全国大学技術組織による理科支援プロジェクト in 能登 被災地の子どもたちへ贈る科学実験教室 開催決定

能登半島地震・奥能登豪雨における被災地の子どもたちに科学を通じた「学び」と「笑顔」を届けるため、全国の大学技術職員が協力し、石川県能登町・七尾市内の小中学校で科学体験教室「出前おもしろ実験室」を開催します。

本事業では、大学の教育・研究を支える技術職員が持つ専門性と各大学が有する特色を活かした様々な実験を持ち寄り、普段の授業では体験できない特別な実験教室を実施します。なお、クラウドファンディングによる全国からのご支援、ならびに東京応化科学技術振興財団の助成金を得てこの活動は実現しました。災害で大きく変わった日常の中、科学の楽しさが子どもたちの未来や希望につながることを願っています。

取材をご希望の場合は2025年9月30日(火)までに以下のお問合せまでご連絡いただきますようお願いいたします。

【開催日程・場所(予定)】

2025年10月15日(水) 七尾市立石崎小学校

2025年10月16日(木) 能登町立宇出津小学校・小木小学校・柳田中学校・能都中学校

【参考】

被災地における理科支援事業 <https://omoshiro.tech.tottori-u.ac.jp/ishinomaki/>

※過去に石巻市で実施した事業の様子がご覧いただけます。

【問い合わせ先】

鳥取大学 技術部 全国大学技術組織による理科支援プロジェクト担当 河尻

Tel: 0857-31-5504

Email: demae_rika_shien@ml.tech.tottori-u.ac.jp